



2学期の学校方針

重点は「自学」

学びを求める羽中生

1学期末の保護者及び生徒評価結果を受けて、夏休み中に2学期の学校方針を検討しました。評価では、保護者にも生徒にも、これまで以上に「自分から勉強するようになった」という声が多くありました。そこで、春に掲げた校訓(自学・自律・協力)からの学校目標を継続しつつも、学習への意欲向上の加速を目指し「**学びを求める羽中生**」を2学期の重点目標にしました。

この目標について改めて注目すべきは、「学びを求める」ということで、『**やらされる勉強ではなく、自主的に取り組む勉強**』の重視です。そのため、子どもたちが日々の授業で「学びがい」を感じながら取り組めるよう、先生方はその指導方法について研究し、工夫しながら取り組んでいきます。

また、「自ら学びを求める」習慣は、将来いくつかの職業を経験しなければならない「人生100年時代」を生き抜く今の子どもたちにとって、生涯にわたる必要不可欠な「能力」となります。今のうちから「学ぶ意

義を考える／自分なりの方法で取り組む／他者に教えることができるまで学ぶ」の3つのポイントが、その基礎となります(下図参照)。

脳科学やコーチングにおいて、学習事項の効果的な定着には「学ぶ意義を考える」ということ、つまり、マインドセット(勉強への考え方や捉え方)が重要とされています。勉強をしているのに伸び悩む人は、このマインドが弱く、**やらされ感**を抱く傾向があります。また、**テスト対策の短期間の勉強よりも、将来の豊かな人生を見据えつつ、学ぶ意義を理解した上での自主的で地道な取組の方が飛躍的な伸びになります**(始業式でコレを伝えました)。

なお、これまでの学びや生まれながらの能力、家庭での学習環境や毎日の生活習慣など、多様化が顕著になっています。そのため、画一的な学びを脱却し、複線的な学び(個別最適な学び)の機会を増やしていきます。

生徒も先生も、そして、ご家庭でも、高い理想を目指しながら、共に取り組んでいきましょう！



子どもたちの命を守る研修

夏休みになって間もない7月30日、本校の先生方による「避難袋」使用方法の研修会を行いました。

1学期に東京都の小学校で起こった火災を機に、避難の重要性が改めて注目されるようになりました。また、夏休み中には熊本県での大きな地震、千葉県での豪雨による浸水被害が起きました。羽幌町においても対岸の火事ではないため、これまで以上に万への備えを強化しなければなりません。

今年度は、町役場に防災総括専門員として岩佐明彦さんが着任されました。総務課の廣谷係長と何度かご来校いただき、以前お勤めの自衛隊での救助活動のノウハウを基にした防災対策についてアドバイスしてくださっています。また、7月の避難訓練ではお二人にも参観してもらい、消防署員の皆さんと共にご助言をいただきました。

これからも、万の際に先生方は慌てることなく、子どもたちの命を守ることを最優先した行動がスムーズにできるよう、日々、危機管理の意識を高めていきます。

「学びを求める羽中生」3つのポイント

これができるようになってほしい！



勉強の必要性を考える

Mindset

勉強への考え方



自分に合った勉強法を見付ける

Practice

地道な実践



他者に教えることができるまで学ぶ

Goal

目指す姿

※裏面もご参照ください。



WELL-BEING しあわせがわかるガッコウ

校 訓

自 学

自 律

協 力

今年度の
学校目標学びを求める
羽中生言動を律する
羽中生仲間と伸びる
羽中生学校づくりは
学級づくり
から誰もが学びの
主体者になる学級集団の課題に気づき
自ら解決を図る学級仲間を敬い協働的な
活動ができる学級

心 理 的 安 全 性

教職員の
ミッション

寛容的で安心感のある「学級風土」がすべての礎

ご家庭の
ミッション「個別最適な学び・協働
的な学び」を具現化する
ホンキの授業づくり

自 学

「学びに向かう力」を育
み、勉強の「醍醐味」と
「必要感」とを実感させ
る授業づくり

毎日の300分で育むチカラ

学習指導要領より

知識・技能

思考力・判断力
表現力 等学びに向かう力
人間性 等「勉強内容の定着」より
も「勉強に向かう習慣」
を重視する生活の確立

自 学

「マルチステージ型人
生」を生きる子どものた
めの、社会生活における
「学び」の重要性の理解「学級経営シート」に基
づいた「戦略的な」学
級づくり（道徳で学び、
学活で実践）

自 律

自律的な意識の向上を
図るための、日常的な点
検活動と改善への手だ
てを思考させる学級づ
くり多様性を認め、他者のよ
さに気づき、仲間を尊敬
する寛容力の醸成

協 力

「特別の教科 道徳」の
授業力と、道徳教育全般
の強化（教職員の「隠れ
たカリキュラム」）

主体的・対話的で深い学び

学び
心
理

学校の役目

教育活動の精選と質的転換
教員・支援員の指導力向上
子どもの多様性の尊重
家庭への情報発信・共有前期評価結果から学
びに向かう生徒が増
えたことが分かった。
後期はさらに1人でも
多く「学びがい」を
感じながら授業や自
主的な学習に取り組
むことができる羽中
生を育成する。知るよこび
分かるよこび
伝わるよこび
挑むよこび

家庭・地域等との協力

全育成への家庭との協働
校運営協議会の活性化
活動の地域クラブ化の推進
羽幌小学校との連携「自分が決めて、自分で
動く」ことが実践できる
環境づくり

自 律

家庭生活におけるルー
ルづくりと遵守するた
めの点検や内容の見直
しダイバーシティ（多様
性の尊重）を意識した言
動と家族の共通認識

協 力

人としての道徳観や礼
儀作法、相手に応じた言
葉遣いや社会的なマナーなどの躰

1 学期【前 期】

2 学期【後 期】

3 学期【移行期】

今年度の
風土を築く前期（1 学期末）
学校評価学校づくりプランの見直し
【後期学校づくりプラン】ホンモノのチカラに
根ざす後期（2 学期末）
学校評価

12月に結果を出す

R9_スタートプラン

次なる
ステージへ
伸ばす卒業
&
進級